

西粟倉村

地方創生としての取組

岡山県西粟倉村

村長 青木秀樹

- 場所：岡山県北東端
(南北7km 南東14km)
- 人口1,267人/590世帯
(高齢化率38.3%(R8.3))

•平成の大合併を拒否

- 2013年 環境モデル都市
- 2014年 バイオマス産業都市
- 2019年 SDGs未来都市
- 2022年 脱炭素先行地域

11 住み続けられるまちづくりを



12 つくる責任つかう責任



8 働きがいも経済成長も



13 気候変動に具体的な対策を



7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



9 産業と技術革新の基盤をつくろう



15 陸の豊かさも守ろう



シンボルプロジェクト

もり

①2009年～ 百年の森林事業

- 「百年の森林に囲まれた上質な田舎」
- 衰退する一次産業にフォーカス
- 自治体のチャレンジ

川上

- 自治体（西栗倉村）
- 森林施業（補助事業）

+

川下

- 民間（ローカルベンチャー事業）
- 林業6次化
- 付加価値の添加

川中

- 自治体（西栗倉村）
- 再エネ導入事業

- ・ 優良材育成
- ・ 雇用・経済循環
- ・ 安全・環境に優しい

- 共感
- 共有
- 発信力
- 見える化

西栗倉村
森林の
100年

生を迎える
の西栗倉村の森林

私たちが目指すのは、
これから50年後の森林。

西栗倉村
百年の森林
構想

1年

25年

2009年

50年

75年

2058年

100年

元々林業で成り立っていたこの地で、約50年前に、子や孫のために、苗木を植えた。

植林した苗木がすくすくと育っていきます。密集した木々は、上へ上へとその長さを伸ばしていきます。

ある程度成長した木々の間伐を行い、地面に日光が届くよう、森の密度を調整していきます。

木々の幹も太くなり根もはり、保水林となり、下草なども生えてきます。少しずつ鳥も棲み始めます。

しっかりと山に根ざし、水の通り道として川も自然につくられます。山の動物たちのすみかとしても利用されています。

②西栗倉村の低炭素な地域づくりの歩み



「百年の森林事業」開始

「環境モデル都市」に選定

「SDGs未来都市(モデル事業都市)」に選定

あわくら水力発電(株)設立

「脱炭素先行地域」に選定

西栗倉百年の森林でんき(株)設立

「バイオマス産業都市」に選定

ローカルベンチャースクール

TAKIBIプログラム



小水力発電
「めぐみ」
リプレイス
開始

小水力発電
「めぐみ」
290kW
運転開始

地域熱供給
システム
整備開始

地域熱供給
システム
整備終了

電力PPA事業
公共施設6か所へ地中熱整備
小水力発電(49kW)整備
断熱工事
エネルギーマネジメントシステム

地域脱炭素移行・再エネ
推進交付金事業着手



黄金泉
薪ボイラ
340kW
整備

元湯
薪ボイラ
75kW
整備

あわくら荘
薪ボイラ
270kW
整備



マイクロ水力発電
5kW運転開始

小水力発電
「みおり」
建設開始

小型バイオマス
発電整備終了

小水力発電
「みおり」
199kW
運転開始

太陽光発電5カ所整備



③ローカルベンチャースクールによる起業支援

ローカルベンチャーとは、「自分の視点を持ち、見落とされていた地域ある宝物を上手に発見して仕事をつくる。」起業のことで、これまでに**62社**が起業しています。
これからは、企業との連携による地域課題解決型事業創出が有効な手法となる。

教育事業

飲食・宿事業



木材加工事業

デザイン事業



ローカル研究所

林業事業

福祉事業



多様なLVの出現

22億円

新規雇用創出

228人

熱エネルギー事業



経済規模

8億円

④TAKIBIプログラムによる企業の設立

それぞれの専門性をもつ企業や研究機関・金融などと協働し、PDCAサイクルを回すプロジェクト「TAKIBIプログラム」を実施

年度	テーマ	招聘企業	プログラムでの内容	現在の状況
R3	観光の活性化	ワンテーブル カヤック	滞在型観光・新宿泊施設・お土産の内製化・スキー場の再整備	百年の森のホテル“栞”整備 大茅スキー場再整備
	高齢者の生涯現役	夢古道おわせ うきはの宝 EDING:POSTinc.	ばあちゃん食堂・困りごと売買 (HELPストア)・情報発信	企業研修などと合わせた事業開発
R4	電力会社	三ツ輪HD パナソニックエナジー テクノ矢崎	新電力会社の設立可能性 村産電力の地域利用	(株)百年の森林でんきの起業
	在宅医療	医療法人社団悠翔会 村内事業者	村で暮らし続けるための健康と医療	保健福祉課で検討 健康福祉分野で健康づくりの 事業化分野を模索検討
R5	生物多様性	日本電気株式会社 国際社会経済研究所 竹中工務店 JR西日本	西粟倉村にとっての生物多様性とは 生物多様性戦略の先進モデル地域へ	一般財団法人ネイチャープレ ナー・ジャパンの設立
	住宅不足	大和ハウス工業 大和リース ロイヤルホームセンター ソマノベース	西粟倉村の住宅問題共有 森を育てるまちづくりの提案	空き家流通の仕組みづくり

⑤2050 “生きるを楽しむ” むらまるごと脱炭素先行地域

健康に生きる



誕生から最後までデータを蓄積し、分析に基づいた健康管理及び適正な医療・福祉・教育サービスを推進

健康・医療・介護・教育データ

便利に生きる



データPFと連携したMaaSの展開により、誰一人取り残されない移動手段を提供

運行情報・エネルギー消費量

安心して生きる



EVや蓄電池の導入推進により、災害時でも安定した電力・エネルギーを確保

電力量

自然豊かに生きる



自然豊かな「百年の森林」を再構築し、脱炭素や生物多様性保全に最適となるよう、森林価値を最大化

施業面積・素材供給量等

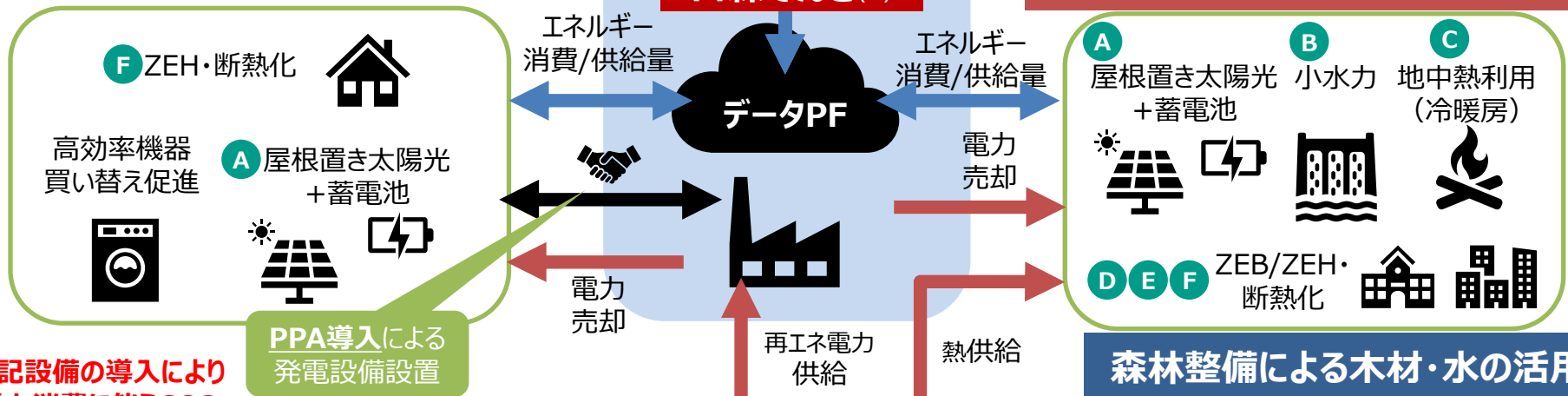
SDGs未来都市計画

カーボンニュートラルに向けた取組推進により、更に上質な田舎へ

住宅の断熱化や太陽光発電の整備

地域新電力
百森でんき(株)

子育て施設・学校・福祉施設の断熱化や太陽光発電・再エネ施設の整備



上記設備の導入により
電力消費に伴うCO2
排出ゼロ

森林整備による木材・水の活用

既存の村内再エネ発電・エネルギー施設

→ 情報の流れ
→ エネルギーの流れ

⑥地域資本を活用した価値向上による社会・経済効果



経済

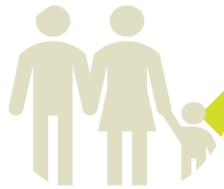
- 総生産額8億円から22億円に増加
- 新規事業創出62件
- エネルギー収入：

水力発電	120,000千円
百森でんき(株)	10,000千円
バイオマス	29,000千円
- C材未利用材収入：1,600t 10,400千円
- 林業・木材加工事業売上：1億円→13億円



環境

- 森林の年間二酸化炭素固定量：34,000t-CO²
- 年間二酸化炭素削減量：4,400t-CO²
- Jクレジット創出量：25,000t
現在までの販売額1億5千万円



雇用

- 新規雇用創出数：230人
- 林業・木材加工関連事業新規就業者数：110人増
- 木質バイオマスエネルギー事業新規就業者数：4人
- 地域電力（PPA事業）就業者数2人



森林

- 森林の集約化面積：2,964ヘクタール
- 国内初となる森林商事信託
- 2009年からの整備面積 約2,150ヘクタール

⑦最後に…

これまでの事業を通じた現場からの提案

現状の課題

- 国産技術を活かした林業機械やバイオマス発電・エネルギーシステムが積極的に開発されていない。
- 熱利用に対する支援がまだまだ弱い
- 事業導入や運営手続きが複雑で人員が不足している。
- 小規模自治体単独ではサプライチェーンの構築が困難

今後に向けての提案



- ① 電力に偏らず熱利用への本格的な支援が必要
- ② 広域連携を前提とした仕組みづくりが必要